

## 「主な取組」検証票

施策展開	1-(6)-ア	沖縄らしい風景づくり
施策	①良好な景観創出のための仕組みづくり	
主な取組	沖縄らしい風景づくり推進事業	実施計画 記載頁 63
対応する 主な課題	各地域が有する自然、歴史、風土等を生かした沖縄らしい良好な景観の形成に向けては、市町村や地域住民が方向性を共有し、主体的に参画できる仕組みの構築が不可欠である。	

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	(市町村の景観行政団体への移行) 市町村と地域が風景・まちなみ景観の方向性を共有する場の設定やそのプロセスなど、地域資源を活用した景観計画や行動計画等詳細計画の策定を促進する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	21団体 景観行政 団体数 (累計)	24団体	26団体	28団体	30団体	→	県 市町村
	景観行政団体移行促進、景観計画策定支援						
担当部課	土木建築部 都市計画・モノレール課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
景観形成推進事業	19,587	19,371	市町村の景観行政団体への移行促進及び景観計画策定に向けての助言等を行った。【県単等】	再掲 1-(6)-ア 63頁、64頁 1-(7)-イ 73頁
活動指標名			計画値	実績値
景観行政団体数			21団体	25団体
-			-	-
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	平成19年度で3団体だった県内景観行政団体数が24年度末で21団体まで増え、順調に進んでいる。景観行政団体が増えることにより、各地域に適した景観施策が実施されることとなる。			

#### (2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
景観形成推進事業	16,950	市町村の景観行政団体への移行促進及び景観計画策定に向けての助言等を行う。【県単等】	-

## 様式1(主な取組)

### (3) これまでの改善案の反映状況

計画通りに進捗しており、前年度同様、事業進捗を図る。

### (4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
市町村景観行政団体数	21団体 (23年度)	25団体 (24年度)	30団体	4団体	—
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
景観計画策定市町村数	6市町村 (22年度)	9市町村 (23年度)	10市町村 (24年度)	↗	—
状況説明	伊是名村、宜野湾市、糸満市および八重瀬町の4市町村が新たに景観行政団体となったことで、平成24年度末の市町村景観行政団体数は25団体と前年度と比較して4団体の増加となった。計画どおり景観行政団体数は増加しているため、H28目標値の達成は可能と見込まれる。				

## 3 取組の検証(Check)

### (1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

目標達成には、市町村の景観に対する意識向上に向けて、市町村との密に情報交換ができる連携体制を整える必要がある。

### (2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

順調に進捗しているが、更なる向上に向け、市町村との連携体制の強化及び市町村職員の景観に対する知識習得を図ることが必要である。

## 4 取組の改善案(Action)

市町村を対象とした勉強会や研修などを年6回程度開催し、市町村との連携体制の強化及び市町村職員の景観に対する知識取得を図ることにより、市町村の景観行政団体への移行の支援に取り組む。

## 「主な取組」検証票

施策展開	1-(6)-ア	沖縄らしい風景づくり		
施策	①良好な景観創出のための仕組みづくり			
主な取組	沖縄らしい風景づくり推進事業	実施計画 記載頁	63	
対応する 主な課題	各地域が有する自然、歴史、風土等を生かした沖縄らしい良好な景観の形成に向けては、市町村や地域住民が方向性を共有し、主体的に参画できる仕組みの構築が不可欠である。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	(市町村の景観計画等策定支援) 市町村と地域が風景・まちなみ景観の方向性を共有する場の設定やそのプロセスなど、地域資源を活用した景観計画や行動計画等詳細計画の策定を促進する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	9市町村 景観計画 (累計)	15市町村	20市町村	25市町村	30市町村	→	県 市町村
	景観計画・景観向上行動計画の策定支援						
	3地区 景観地区 (累計)	5地区	7地区	9地区	11地区		
	景観地区指定の支援						
担当部課	土木建築部 都市計画・モノレール課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
景観形成推進事業	19,587	19,371	市町村の景観計画・景観向上行動計画の策定及び景観地区の指定に係る助言等を行った。【県単等】	再掲 1-(6)-ア 63頁、64頁 1-(7)-イ 73頁
活動指標名			計画値	実績値
景観計画			9市町村	10市町村
景観地区			3地区	3地区
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	平成19年度では計画策定市町村が1団体だったが、24年度末で10団体まで増え、順調に進んでいる。また、景観地区指定に向け、11市町村21地区が取り組んでいる。各地域で景観計画が策定されることにより、地域に適した景観施策が実施される。また、景観地区が指定されることにより、統一された良好な景観が形成される。			

様式1(主な取組)

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
景観形成推進事業	16,950	市町村の景観計画・景観向上行動計画の策定及び景観地区の指定に係る助言等を行う。【県単等】	—

(3) これまでの改善案の反映状況

<p>計画通り進捗しており、前年度同様、事業推進を図る。</p>
----------------------------------

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
景観地区数	3地区 (23年度)	3地区 (24年度)	10地区	0地区	—
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
景観計画策定市町村数	6市町村 (22年度)	9市町村 (23年度)	10市町村 (24年度)	↗	—
状況説明	平成24年度は新たに景観地区に指定された地域はなかったが、現在、景観地区の指定に向け、11市町村21地区が取り組んでおり、順調に取組が進捗すれば、H28目標値の10地区は達成できる見込みである。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

<p>景観地区の指定に当たっては、地域住民の合意形成が必要なため、合意形成を行う市町村への的確な助言・支援を行えるよう、市町村と密に連携を取りながら実施する必要がある。</p>
--

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

<p>順調に進捗しているが、更なる向上に向け、市町村との連携体制の強化及び市町村職員の景観に対する知識習得を図ることが必要である。</p>
---

4 取組の改善案(Action)

<p>市町村を対象とした勉強会や研修などを年6回程度開催し、市町村との連携体制の強化及び市町村職員の景観に対する知識習得を図ることにより、市町村の景観計画策定支援に取り組む。</p>
---

## 「主な取組」検証票

施策展開	1-(6)-ア	沖縄らしい風景づくり	
施策	①良好な景観創出のための仕組みづくり		
主な取組	沖縄らしい風景づくり推進事業	実施計画 記載頁	63
対応する 主な課題	風景づくり、景観形成を推進するにあたって、良質な公共空間の創出により地域の景観形成を先導するとともに、良質な景観形成に関する専門的な知識を有する人材育成や技術開発を行う必要がある。		

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	(景観評価システムの構築) 景観アセスメントや社会実験、実証実験、アンケート等により、良好な景観形成による効果を検証するとともに、沖縄らしい風景づくりに適正に反映する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	0件 景観アセス 数(累計)	1件	4件	7件	10件	→	県
	景観アセスメント構築、実施						
担当部課	土木建築部 都市計画・モノレール課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
沖縄らしい風景づくり推進事業	90,996	87,433	景観アセスメントシステム案の策定及び道路・河川・港湾事業の景観チェックシート案をH25年3月に策定した。【一括交付金(ソフト)】	再掲 1-(6)-ア 63頁 3-(8)-ウ 257頁258頁 3-(12)-エ 311頁 5-(5)-イ 379頁 5-(5)-ウ 381頁 5-(6)-イ 389頁
活動指標名			計画値	実績値
景観アセス数			0件	0件
-			-	-
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	平成24年度は景観アセスメントシステム案の策定及び道路・河川・港湾事業の景観チェックシート案を策定した。今後は景観チェックシート案を用いて景観アセスメントシステムを試行し、また、チェックシートを作成する際の手順書等を策定していく。公共事業の景観評価を行うことで、地域景観に配慮された公共事業が実施され、良好な公共空間が創出される。			

#### (2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
沖縄らしい風景づくり推進事業	3,554	景観アセスメントシステムの試行及び公園・営繕・海岸事業の景観チェックシート案を策定する。【一括交付金(ソフト)】	-

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

計画通りに進捗しており、前年度同様、事業進捗を図る。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
景観アセスメント数	0件 (23年度)	0件 (24年度)	10件	0件	—
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	平成24年度は景観アセスメントシステム案の策定及び道路・河川・港湾事業の景観チェックシート案を策定した。今後は景観チェックシート案を用いて景観アセスメントシステムを試行し、また、チェックシートを作成する際の手順書等を策定していく。今後、当該経費にかかる予算が計上されれば、目標値の達成が見込まれる。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

平成25年度予算要求時期では平成25年度の具体的な事業内容が決まっていなかったため、平成25年度当初予算では当該取組に係る経費が計上されなかった。計画通り取組を推進するために、策定した計画を基に、平成25年度補正予算の計上を図る必要がある。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

平成24年度に策定した計画を基に、平成25年度の補正予算での計上に向け、取り組んで行く必要がある。

4 取組の改善案(Action)

平成25年度9月補正予算に景観アセスメントシステムの試行等に係る経費を計上し、計画通り取組を推進する。

## 「主な取組」検証票

施策展開	1-(6)-ア	沖縄らしい風景づくり		
施策	①良好な景観創出のための仕組みづくり			
主な取組	沖縄らしい風景づくり推進事業	実施計画 記載頁	63	
対応する 主な課題	風景づくり、景観形成を推進するにあたって、良質な公共空間の創出により地域の景観形成を先導するとともに、良質な景観形成に関する専門的な知識を有する人材育成や技術開発を行う必要がある。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	(風景づくりリーダー育成とモノづくりの促進) 風景・まちなみの再生を先導する地域に根ざした風景づくりリーダー等の育成や亜熱帯地域沖縄の気候風土に適した技術研究開発を実施する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	プログラム作成	50人 講習修了数				→	県
	地域景観形成人材育成 (リーダー養成講座、コーディネーター派遣等)						
	プログラム作成	技術研究数			3件(累計)	→	
技術研究開発(地場産材品質向上、景観創出新技術開発等)							
担当部課	土木建築部 都市計画・モノルール課						

### 2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
沖縄らしい風景づくり推進事業	90,996	87,433	風景づくりに係る人材育成計画の策定及び景観向上に係る建築技術等研究開発計画の策定をH25年3月に策定した。【一括交付金(ソフト)】	再掲 1-(6)-ア 63頁 3-(8)-ウ 257頁258頁 3-(12)-エ 311頁 5-(5)-イ 379頁 5-(5)-ウ 381頁 5-(6)-イ 389頁
活動指標名			計画値	実績値
プログラム作成			1	1
プログラム作成			1	1
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	平成24年度は、風景づくりに係る人材育成計画及び景観向上に係る建築技術等研究開発計画を策定し、平成25年度以降は当該計画を基に人材育成及び研究開発を実施する。風景づくりに係る人材育成及び景観向上に係る建築技術等研究開発が実施されることにより、地域景観の技術的課題解決や良好な景観形成に必要な人材が育成され、沖縄らしい風景づくりに寄与する。			

様式1(主な取組)

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
沖縄らしい風景づくり推進事業	3,554	平成24年度に策定した計画に基づき、風景づくりに係る人材育成及び景観向上に係る建築技術等研究開発を実施する。【一括交付金(ソフト)】	—

(3) これまでの改善案の反映状況

計画通りに進捗しており、前年度同様、事業進捗を図る。
----------------------------

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
景観地区数	3地区 (23年度)	3地区 (24年度)	10地区	0地区	—
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
景観計画策定市町村数	6市町村 (22年度)	9市町村 (23年度)	10市町村 (24年度)	↗	—
状況説明	景観モデル地区である11市町村21地区を主な対象に、人材育成及び研究開発を実施し、当該地区の景観地区指定やまちづくり協議会の設立等に向け取り組んでいく。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

平成25年度予算要求時期では平成25年度の具体的な事業内容が決まっていなかったため、平成25年度当初予算では当該取組に係る経費が計上されなかった。計画どおり取組を推進するために、策定した計画を基に、平成25年度補正予算の計上を図る必要がある。
---

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

平成24年度に策定した計画を基に、平成25年度の補正予算での計上に向け、取り組んで行く必要がある。
---

4 取組の改善案(Action)

平成25年度9月補正予算に風景づくりに係る人材育成の経費を計上し、計画通り取組を推進する。
---